

放課後等デイサービス自己評価表（東京YMCAさくら国立）

実施：2018年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を順守した広さである。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令に従って職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		対象としている児童には不自由がないと思われる。今後は状況により適宜判断していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	各クラス指導員、児発管は随時行っているが、全ての職員が参画・共有できる会議を開催していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		3月に実施、評価を基に改善を図っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今後行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は今後必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部、内部研修を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童、保護者との面接、日々の会話の中でアセスメントに基づいた計画を心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達支援プログラムをYMCAでは長年実施し、ツールの共有化を図っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			主たる指導員、児発管が中心となり、他の指導員と共に活動計画作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		開設後2年が経ち固定化しないよう工夫が今後は必要となるため、検討していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		対象に則した課題を設定しているが、出来る限りきめ細やかな設定を心がけるようにしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			グループでの活動が中心だが、個別に行える活動、集団で行える活動と合わせて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を取り、共有できるようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		実施はしているが、定期的に行えるように取り組んでいく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を大切にしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			守秘義務に即しながら、参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		守秘義務の取り決めから、学校との直接のやり取りは無い。送迎は行っていないため、保護者からの情報提供となっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現時点では対象となる児童は受け入れていない。必要に応じて整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		守秘義務の観点から、保護者からの依頼があれば行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		守秘義務の観点から、保護者からの依頼があれば行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各センターで定期的に行われている会議・研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		不定期での交流の機会はあるが、保護者の意向なども踏まえ、進めてきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		現在は行っていないが、関係団体も含め行っていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			会の終わりには、その日の活動内容、子どもの様子などを伝えるようにし、必要に応じて個別に対応している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	講演会の案内程度のため、保護者会などを通じて行ってきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に必ず説明を行っている。日々の支援については、活動終了後に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際には、丁寧に対応するよう心掛け、助言、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会が実施できていないため、今後は実施して、保護者間の連携も図っていきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		受付窓口、責任者を設け、契約時に説明をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	発行はしているが、今後は定期的に行えるようにしていく。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		誓約書を交わすとともにスタッフへの研修を行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状況に合わせて配慮するよう心掛けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	放課後等デイサービスとしては行っていない。他事業との連携で進めていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	保護者には契約時に説明し、職員は研修を行うようにしている。さらに充実するようつとめる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	定期的に行っているが、利用者、職員の入れ替わりに応じ適宜行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修の実施、資料がすぐに見れるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	これまで、現在においても身体拘束を必要とするケースはない。原則身体拘束はなしとしているが、今後は必要に応じて説明及び計画に記載をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現時点で対応が必要とする利用者はいない。受入れる際の対応マニュアルは整備されている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの報告書は作成している。より積極的な活用ができるよう職員会議などで周知していく。